

新型スロープ不具合解消に関する申し入れ

8月9日、新大阪駅において車いすのお客様が90Aに乗車する際に、スロープとホームの接する部分の段差による衝撃で膝の上に置かれていたお荷物が落下するといった事態が発生した。

現在使用している新型スロープは2020年6月に配備されたが、スロープとホームの接する部分に段差があり、乗車時に車いすの前輪が段差に引っかかり衝撃が発生する。また、車いすを引っかかった状態で強く押すと前のめりに転倒する恐れがあり、車いすのお客様の安全上において問題がある。

さらに、新型スロープの不具合に対して、車いす担当者の対応に任せているだけで、新型スロープの不具合解消を行っていないことも問題である。

今回の事態はまさしく危惧していたことが起こったことになる。

関西新幹線サービックに対しては、新型スロープ不具合解消にむけて「発」第3号（新幹線ホームの車いす用スロープの不具合に関する申し入れ、2020年10月28日）を申し入れているが、不具合解消には至っていない。

よって、下記のとおり申し入れるので早急に団体交渉を開催すること。

記

1. 8月9日に発生した事態について、関西新幹線サービックとしての見解を明らかにすること。また、新型スロープの不具合（スロープとホームの接する部分の段差）に対する見解を明らかにすること。

【回答】

当該事象は、係員が真心サービブックに記載されているように前輪を上げる対応を行わず、強引に車いすを押し込んだことに起因するものと認識している。なお、現行のスロープに安全上の問題はない。

2. 現時点における新型スロープの不具合（スロープとホームの接する部分の段差）解消に向けた状況を明らかにすること。

【回答】

現行のスロープは車いすの大型化・重量化に対応するために必要な補強措置を施した結果として厚みが増したものと聞いており、不具合であるとは考えていないが、耐久性の維持とスムーズな乗降の両立を前提に、ホーム側端部の改良について検討を進めてきたところであり、今後、近い時期にホーム側端部の具材を交換する形で改良を実施する予定であると聞いている。

3. 早急に新型スロープの不具合（スロープとホームの接する部分の段差）を解消すること。

【回答】

2項と同じ。